

## 安達太良山の火山活動解説資料（平成24年9月）

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成21年3月31日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1～2①）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2②～④）

火山性地震は少ない状況が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図4）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

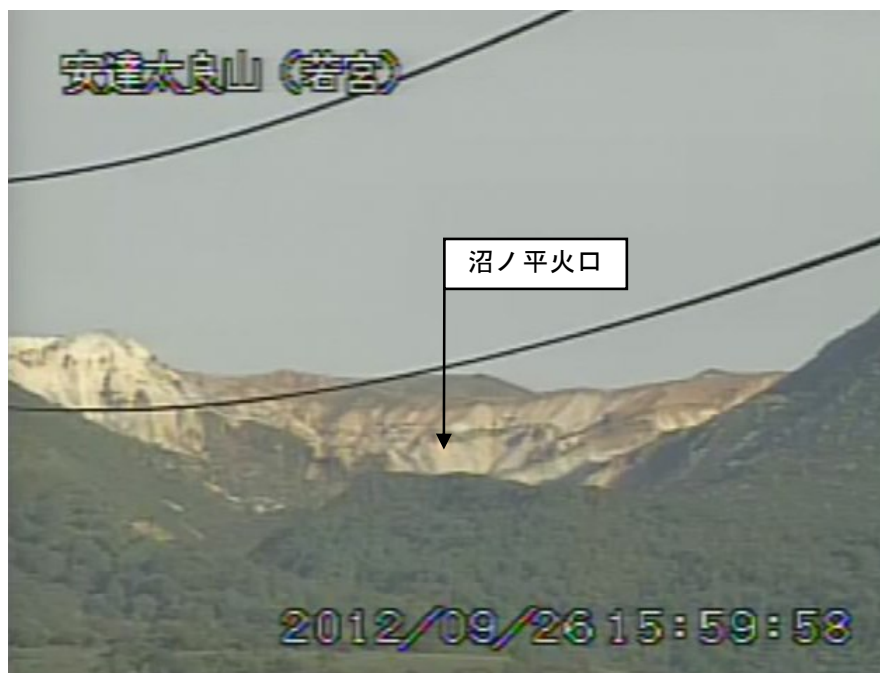


図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の映像（9月26日16時00分頃）  
若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラによる。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成24年10月分）は平成24年11月8日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

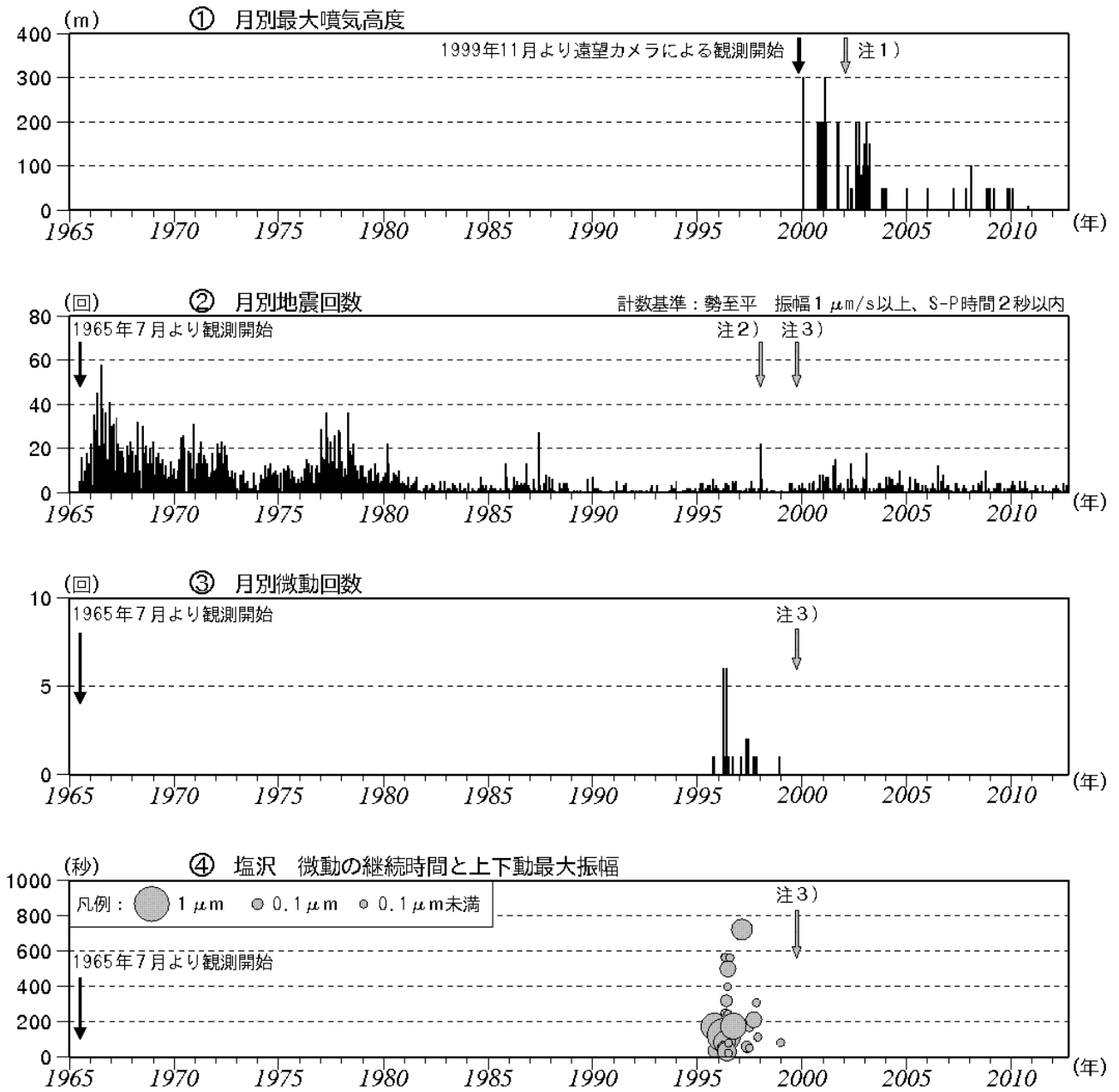


図2 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2012年9月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平火口から東北東約6km）から勢至平観測点（沼ノ平火口から東北東約3km）に変更しました。

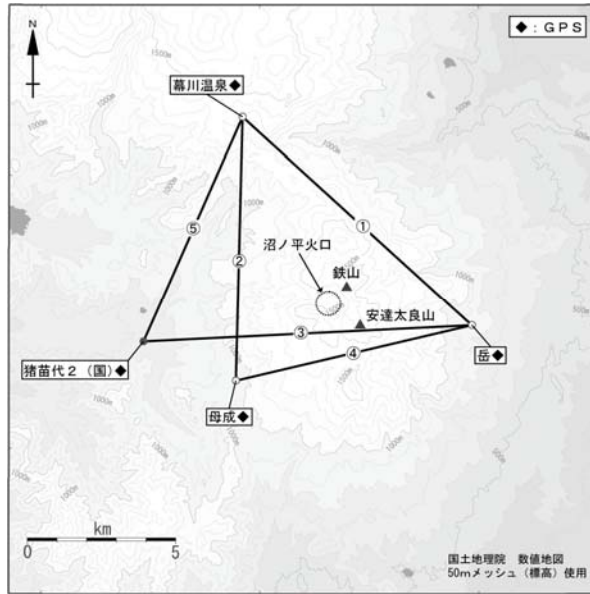


図3 安達太良山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院

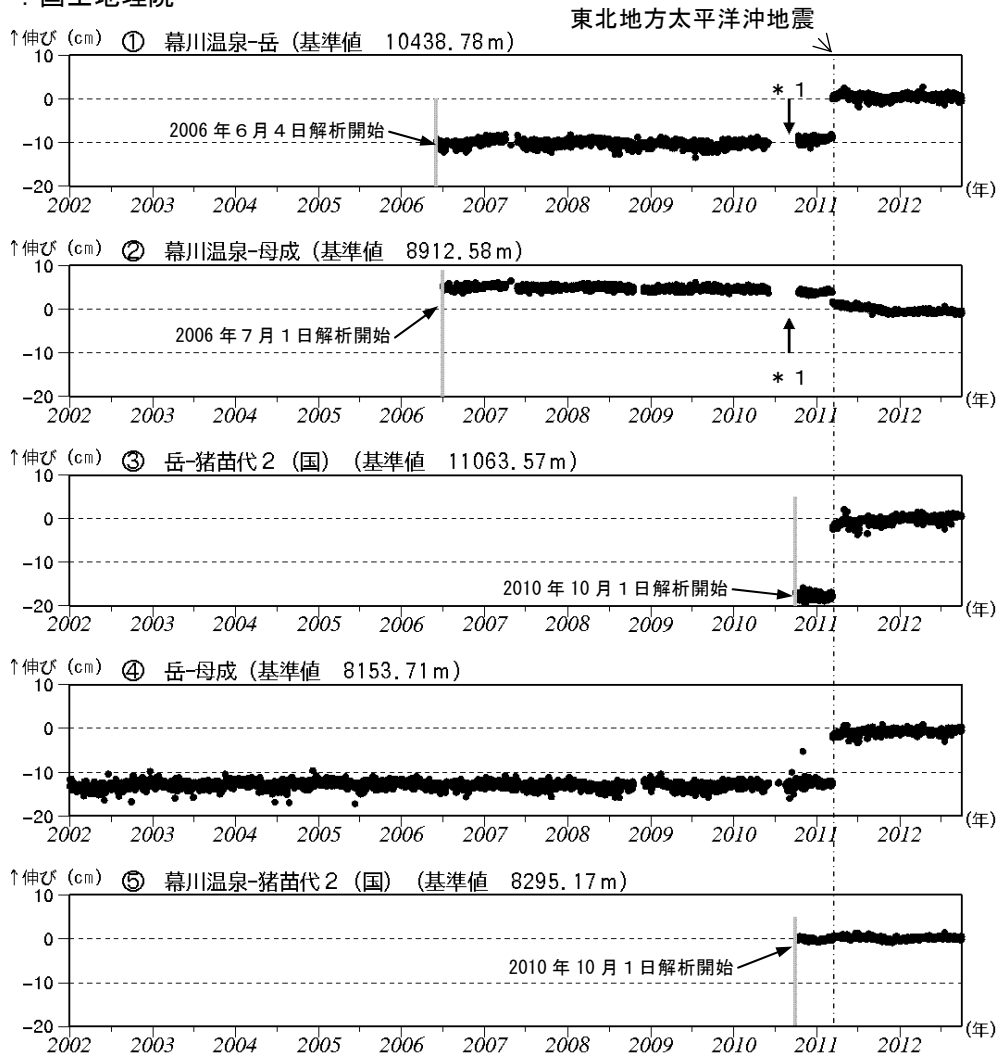


図4\* 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002年1月~2012年9月)

- ・ 2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ ①~⑤は図3のGPS基線①~⑤に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- \* 1 : 幕川温泉観測点の機器更新



図5 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学